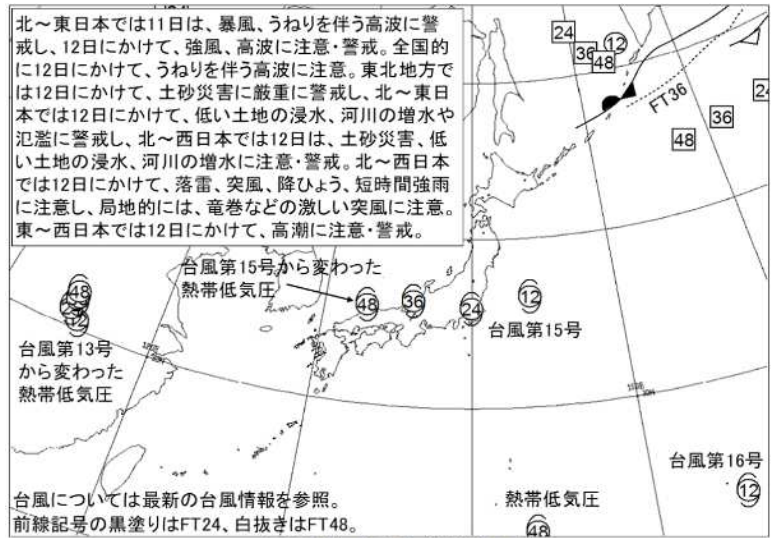


1. 実況上の着目点

- ① 台風第15号が日本の東を北西進。台風周辺で発生した風浪を波源とするうねりの影響で、北～東日本太平洋側沿岸で波が高い所がある。
- ② 台風第13号が華中を北西進。台風へ向かう西南西と南西の下層暖湿気が収束し、南西諸島付近では、発雷を伴う激しい雨を解析。
- ③ 500hPa 5820m付近で-6℃以下の寒気を伴うトラフが日本の東を東進。日中の地上の昇温も影響し、北～東日本で激しい雨を解析。
- ④ 日本海北部の高気圧が、ほとんど停滞。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第15号は、11日夜にかけて関東の太平洋側に上陸するおそれがある。台風は、12日朝にかけて、本州付近を西寄りに進む。台風の接近に伴い、非常に強い風が吹き、台風を波源とするうねりの影響も加わり、大しけとなる所がある。また、1項②の台風第13号が南西諸島付近を進んだ際のうねりの影響で、しける所がある。北～東日本では11日は、暴風、うねりを伴う高波に警戒し、強風に注意。全国的に11日は、うねりを伴う高波に注意。
- ② 1項④の高気圧は北東へ移動し、11日朝までに不明瞭化する。1項③のトラフは、次第に不明瞭化するが、東～西日本の上空に寒気が残る。台風第15号の周辺から流れ込む下層暖湿気、地上の昇温、上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う非常に激しい雨の降る所がある。東北地方では11日は、土砂災害に厳重に警戒し、北～東日本では11日は、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。東～西日本では11日は、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨に注意し、局地的には、竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 12日は、台風第15号から変わった熱帯低気圧が、西日本付近を西寄りへ進み、千島の東の高気圧が日本付近へ張り出す。熱帯低気圧や千島の東の高気圧の縁辺で気圧の傾きが急となる影響で、強い風が吹き、しける所がある。2項①の台風第13号によるうねりは、12日も持続する。北～東日本では12日は、強風、高波に注意・警戒。全国的に12日は、うねりを伴う高波に注意。台風第13号や台風第15号から変わった熱帯低気圧に向かう下層暖湿気、地上の昇温、上空の寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では12日は、土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨に注意し、局地的には、竜巻などの激しい突風に注意。また、潮位が高くなる所がある。東～西日本では12日にかけて、高潮に注意・警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：東北180、関東甲信150、伊豆諸島100mm。 ② 波浪(明日まで)：東北・関東7、その他広い範囲で3～4m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 全般気象解説情報(台風第15号)を05時頃に発表予定。